

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和元年9月18日（水）～ 9月20日（金）

2 確認箇所

1 / 2号機共用排気筒（1 / 2号機開閉所前等から確認）

3 確認項目

1 / 2号機共用排気筒解体工事の状況

4 確認結果の概要

1 / 2号機共用排気筒解体工事については、8月1日に作業に着手し、解体装置の動作不良等による作業中断を経ながら、9月1日に頂部ブロックの解体が完了した。その後、頂部ブロック解体作業を振り返り、当該作業で得られた知見を作業手順等へ反映して、9月12日に作業を再開し2ブロック目の解体に着手する予定であったが、9月12日の作業開始前の動作確認時に通信状態の異常が確認されて原因調査を行っていた。

9月12日の通信異常の原因がアンテナへの雨水浸入であることが特定され、雨水浸入を防止するカバー設置などの再発防止対策が講じられ、9月18日から、解体作業が再開されたことから、作業の状況を確認した。

(1) 9月18日の確認結果

- ・ 8時10分頃に解体装置（筒身切断装置）の吊り上げが開始され、動作確認をしながら11時11分頃に頂部に解体装置が設置された。（写真1）
- ・ その後、背籠、梯子等の切断作業等が行われ（写真2）、15時45分頃から筒身の切断が開始された。この間、大きなトラブルはなく作業は順調に進んでいた。
- ・ 東京電力によると、筒身の50%まで切断した後に、解体装置を一旦降ろして筒身を切断するチップソーの点検、交換、発電機への燃料給油を行い、再度、解体装置を吊り上げて切断作業を続ける予定とのことであった。



(写真1-1)

動作確認時の状況

(10時10分頃)



(写真1-2)
筒頂に設置された解体装置の状況
(11時15分頃)



(写真2)
電線管クランプ回収作業の状況
(11時50分頃)

(2) 9月19日の確認結果

- ・現場確認時(11時頃)、解体装置は吊り降ろされていた。(写真3)
- ・筒身切断箇所は黒色の線が入っており、目視で確認することができた。
(写真4)
- ・東京電力によると、7時9分に筒身の約25%まで切断が完了したことから、解体装置を一旦降ろし、チップソーの交換、発電機への燃料供給を行った後に再度、解体装置を吊り上げて筒身の切断作業を続けるとのことであった。



(写真3)
吊り降ろされた解体装置の状況
(11時頃)



(写真4)
排気筒の状況

(3) 9月20日の確認結果

- ・現場確認時（9時50分頃）、解体装置が排気筒頂部に設置されていた。また、断続的に排気筒頂部から切断音を確認することができた。(写真5)
- ・東京電力によると、9月19日13時17分に解体装置の吊り上げを開始し、その後、15時16分に電線管の切断が完了、18時33分から筒身の切断作業を再開し、9月20日9時15分までに筒身の50%まで切断が完了したとのことであった。なお、今後の作業については、台風17号の状況を考慮し検討していくとのことであった。



(写真5)
頂部に設置された解体装置の状況
(9時50分頃)

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。